

2009年度 第5回 常任幹事会議事録

●日時
2010年3月27日(土)
15:00~17:00

●場所
阿佐ヶ谷美術専門学校内

- 出席者
秋元圭一〔会長〕
甲斐光省〔副会長〕
渡部征明〔常任〕
西田一成〔常任〕
大村政幸〔常任〕
浜村圭一〔常任〕
松岡和彦〔常任〕
白石龍子〔常任〕
小山弘〔常任〕
勝山昌幸〔常任〕
富澤和治〔常任〕
土橋洋一〔会員〕
小山優子〔会員〕
永吉昭浩〔会員〕

- 委任欠席(カッコ内→代理人)
日野高(秋元)
竹島巍(大村)
三好耕之
藤川正美
大野美菜子
大悟法淳一
益子直子

常任出席者 11名
委任欠席者 7名
定足数成立

●議事進行
議長・進行:松岡和彦

●議事録
書記:永吉昭浩
校正・制作・文責:
秋元圭一・大村政幸

■議題

- 1 前回議事録の承認について
- 2 卒業制作展・同窓会賞・卒業式及びパーティーについての報告
- 3 選挙結果についての報告
- 4 2009年度決算報告(概略)と次年度活動計画について
- 5 旧絵画科聴講生の扱いの検討
他・意見交換

議題1 前回議事録の承認について

議事録を承認するとはどういう事が話し合われ、承認というより、議事録の文言に問題があるかどうかというチェックであって、決まった議決などについては変更することはない、ということで、会議で了解後にasabi-netへアップする運びとなった。前回分について秋元会長は「選挙の辞任の意思表示をしている人の扱いについて、議事録で『名前を消して年度と科のみグレイ表示で選べないようにする』となっているが、早めに後任者を決めて復活させたいという意向で名前も入れさせていただきました」と報告し、そうした事によって支障は出なかった事を確認して同意を得た。

議題2 卒業制作展・同窓会賞・卒業式及びパーティーについての報告

渡部氏は「同窓会賞について、卒業は各科2名づつ、V D科は4名への投票で、累計79名621票。研究科の修了展は33名65票の投票があった。昨年度より投票数がアップし、学校の賞とのダブリや、次点への調整もなくスムーズに行った。受付で投票用紙が渡りにくいという問題等は改善されたが、興味のない科には投票していないという問題があった」と述べた。他に「卒業会場の明るさが少々暗いが、あれが限界であれば仕方ない。名札が目線の高さにあると見易いかと思う」「同窓会の意向を取り入れて頂いたのはありがたい。欲を言えば名札がもう少し大きければよかった。入口にインフォメーションがほしい」「会場が2回目という事で見易かった。名札はもう少し大きいと思うが、学校主催なので、思うようにやってよいと思う」「学校側としては、卒業制作と卒業制作展を分けて考えていて、展示では見せ方を踏まえた指導をしている」「展示用に指導したというインフォメーションがあれば、一般人にもわかり易いと思う」との意見が続いた。
また渡部氏は平成21年度卒業式での同窓会賞表彰と卒業式後のパーティ内で同窓会幹事を紹介した旨を報告した。秋元氏「各科の幹事を早めに決めていただき、幹事名を卒業式の時に渡す同窓会案内の中に記載できた事、パーティ中に皆の前で紹介できた事は大きな前進だが、個人情報の為、幹事のクラスと名前だけが伝えられない事は残念に思う。私がパーティの中で卒業生にきいた範囲では連絡先はまとめていないと言っていた」渡部氏「幹事をお願いする際、電話番号とメールアドレスを恐る恐るきかなくてはならない状況」松岡氏「会としてきくというインフォメーションがあれば、躊躇せずきけるし、警戒もしないのではないだろうか」と意見が続いた。大村氏が「会員となるのは、会費徴収時か卒業時か」と問い、卒業年度が名簿に載る為、会則にもあるように、卒業時に会員となる事を確認した。

議題3 選挙結果についての報告

本日の会議前に秋元氏・大村氏・勝山氏・永吉氏の4名で開票し、投票総数43通、有効数43通、得票総数516票と結果が出た。
13名中の上位12名(土橋氏8・三好氏20・西田氏25・藤川氏16・秋元氏29・渡部氏14・甲斐氏25・松岡氏27・白石氏19・宮川氏12・富澤氏9・永吉氏20)が決まり、残り1名は7票同数か3名いた為、会長が優先付けをして優先順位の高い人から連絡して了解を得る事とした。開票作業に当たった時間が短く2票の見落としがあったが、票数からの判断では、7票~5票獲得の方に当てはめた場合、順位に差がなかったため結果は変わらないという説明があった。「確定の12名には承諾を得るのか」という質問に、秋元会長は「当選の通知をして確認する。今までその時点で辞退するという返事はもらっていない。出席してくれたり色々意見を言ってくれたりする方が望ましいが、出席率が悪いからといって他の方に替える事は好ましくない。当選通知を出して辞任の意思表示がない限りは常任幹事として名を連ねる」と答えると、「会長名を出すので、当選通知ではなく委嘱状でよいのではないか。それでもなおかつ辞退する時には考えなければいけない」「幹事に投票用紙を送った時点で、自分も選ばれるという可能性も含んでいて、辞退はないという前提で選挙を行っている。同票の残り1名に関しては、会長の判断にお任せしたい」「幹事全員の投票なので、承諾してくれる人まで連絡してみるのが道理だ」との意見が出た。

議題4 2009年度決算報告(概略)と次年度活動計画について

2009年度決算は本日が締めとなる為集計は次回報告とし、各委員会の2010年度活動予定が報告された。
●事務局:会議での書記代1万円と議事録作成代5千円が、常任幹事内で金額の把握相違があり、次回に説明する事とした。来年度は新企画は考えておらず、現状の運営をスムーズにする事を目標とする。
●名簿管理委員会:来年度の予算として、管理作業費3万円、ファイルメーカーのバージョンアップ費4万円。今年度初めに名簿の配布方法等を考えてはいたが、作業が進まなかったのが実情。2010年度以降にフォーマット作業予定として3段階の作業を見て、皆の意見を交えて完成させたい。今回の選挙で、絵画科の幹事が替わり調整したが、投票用紙郵送時に以前のデータが反映された事を謝罪した。秋元会長は「幹事の基準として3年卒業時の年度と科という取決めをしていたが、3年終了の科に何か送ろうとした場合、研究科へ進んだ方が漏れる可能性がある為、3年終了時と研究科終了時の年度と科を両方登録しておきたい。学校と確認と相談をしながら進めたい」と補足した。
●W E B委員会:2009年度はサーバ移行の為1万円多かった。サーバのコース変更に伴い、来年度は管理費の値下げとなる。来年度の目標として、コンテンツ拡充と、情報の流れを早くしたいという事で、試験運用中のツイッターの実演があった。
●広報委員会:今期は予算内で収まった。3700通印刷の予算で出し、3500通で収まったので、来年度も3700通の計算で予算を出した。作業費と郵送費は昨年度と同額。2010年度は同窓会ニュースの発行がメイン。同窓会の活動やイベント報告、次回の総会&パーティの情報等を掲載し、アサブリッジセミナーの案内を載せた「アサビ新聞」と一緒に出せると良い。発行が10月なので、8月中旬に掲載インフォメーションをもらえれば良い。「委員会の中で、例えば委員長が代わった場合、この場での報告はした方が良いか」という質問に、「来年度正式に委員会の選定が行われる場で報告してほしい。年度の途中の場合、名前はそのまま実質作業は新しい方にもやらせてもらう形で構わない」という答えがあった。
●在校生・同窓生支援委員会:予算内で収まった。来年度も同額。2010年度は卒業会場が変わるかもしれない、4~5月には会場がわかるかと思うので、様子を見ながら作品の見易さや同窓会賞投票のし易さなどを考えたい。幹事へのインフォメーションや各クラスの連絡体系についての手立てを考えたい。
●会則検討委員会:前回改正から問題点は出ていない。
●女性会員企画参画委員会:特に問題点は出ていない。
●選挙管理委員会:2010年度は選挙がないので予算から外す。
●セミナー実行委員会:今年度は第5回~第7回まで行われた。第5回はアサビフェスタの中で行われて参加人数が少なかったので今後の課題となった。第7回は先生方から学生へ告知をして頂き、集まりが良く充実していた。来年度はアサビフェスタ内と12月中旬を予定しており、同窓会ニュースのインフォメーションに間に合わせる形で報告したい。各回の予算は今年度と同額の予定。「日程調整やセミナー内容について、学校でやっているテラプロのスタッフと話し合う機会を持ると良い」との意見に、浜村氏は「テラプロの小沢氏に問いかけてみます」と答えた。

議題5 旧絵画科聴講生の扱いの検討、他・意見交換

○前回会議で検討保留となった「聴講生」の扱いについて、甲斐氏から、以前絵画科の冬のクロッキー講座にて「同窓生は会費を免除します」とのアナウンスに対し、「聴講生はどうなるか」との質問があり、この問題に行き当たったという事で、検討の結果、その時の聴講生3、4人に対し、甲斐氏からの推薦として「会費を頂いて入会できます」と伝えて頂き、本人の承諾が取れば会員として迎えたいとの方向とした。大村氏は2008年度の会議で出た、中退者に対するアナウンスをネット上に載せる文言について、西田氏・秋元氏による草案のプリントを配り「聴講生の扱いとあわせて考えたいと思うが、現在は3年進級時に会費を徴収する為、例えば1年次に1ヶ月で辞めても、友達(会員)の紹介で会費を払えば会員になれるという事で、『1年以上の在籍』という文は無くして良いのでは」と意見し、「1年以上で問題なくできると思う」「同窓会に入会の意志があった場合は入会してもらってよいのでは」「1年次は科の選択肢がないので1年以上と銘打ってある」「現在学生証には入学時の本人希望の科名が入っている。入学時に会費を徴収していた年度で、例えば1年時に中退された方の科を推測するには学校にきくと良いかもしれない」との意見が出て、よりわかりやすい文面にしたいという事で、秋元会長は「趣旨は変えずに、なるべく早めにアナウンスしたいと思えます」と述べ、再検討事項とした。
○浜村氏から「人的交流の大事さを実感しており、コミュニケーション活性の為に温泉旅行など企画してはどうか」と提案があり、「ブリッジセミナー委員会を進めてはどうか」「例えば誰か中心となって声かけをするというのはいいと思う」「サークル的に集まって広がるように」「初めから同窓会という範囲でなくても良いのでは」等の意見が出た。
○次回会議の予定について、予算確定の為、5月に常任幹事会、6月下旬~7月上旬に幹事会を予定。「幹事会では幹事の方に同窓会の事をわかって頂くように、やわらかい形の席にしてはどうか」との意見で締められた。

次回日程:2010年5月29日(土)の15:00~17:00ということを確認して会議は閉会した。